

## D) 茂津多ゾーン

防護面の特性：北海道南西沖地震津波により甚大な被害を受け、広範囲にわたり堤防が整備されている。  
環境面の特性：岩礁の間にポケットビーチが点在する景観である。オジロワシ、オオワシなどの貴重な鳥類が生息している。海岸に漂着する流木やゴミにより景観が悪化している。  
利用面の特性：釣り、海水浴が行われている。特に釣りが盛んな地域である。



堤防



太櫓海岸



岩礁



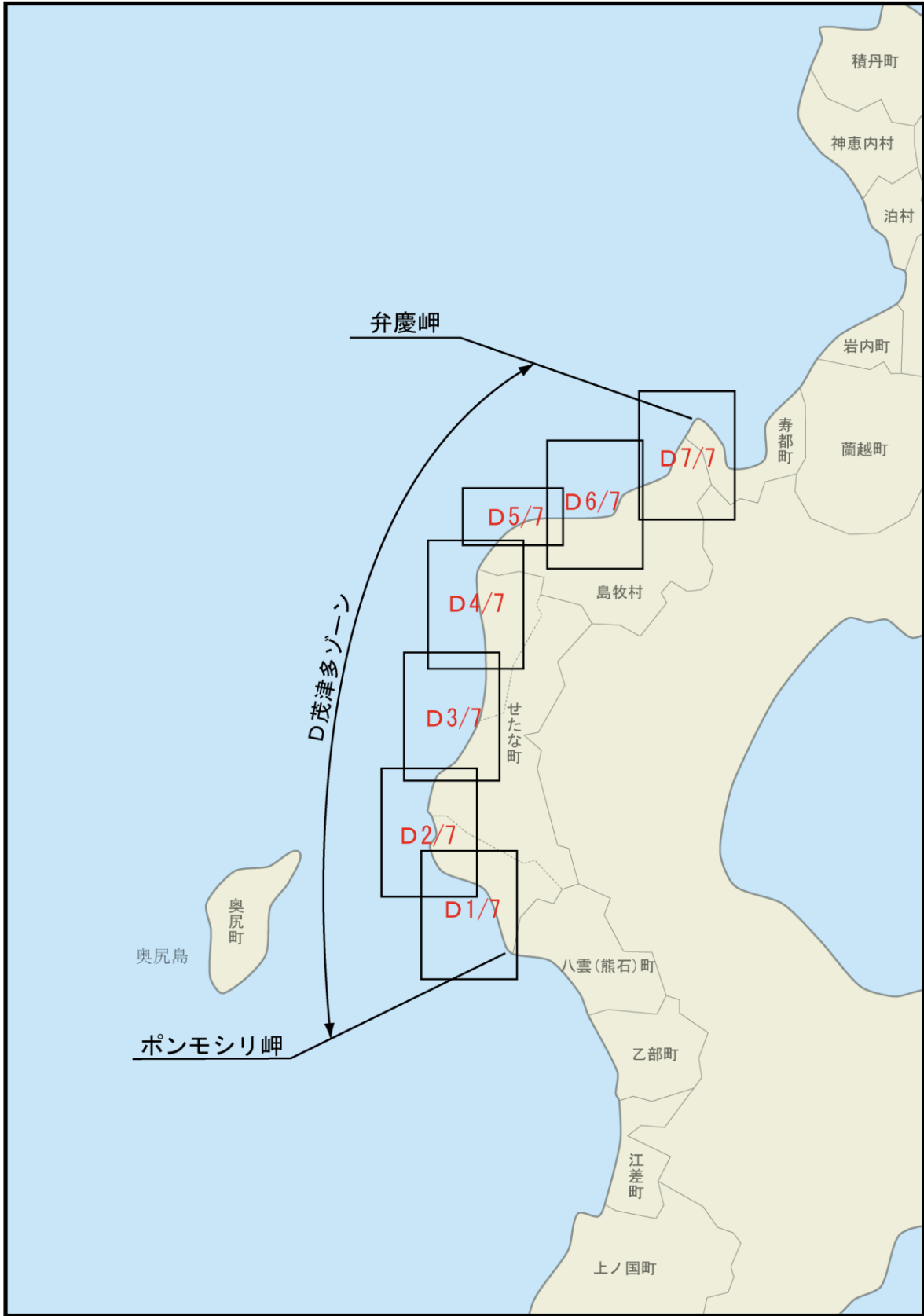
平浜海水浴場

### 【ゾーンの方向性】

防護面：北海道南西沖地震津波で被害を受けた地域での津波対策を推進と、局所的な侵食に対する砂浜の保全を図る。

環境面：減少する藻場と、海食崖・岩礁・砂浜などで生み出される自然景観に配慮する。

利用面：多様化する海岸利用に対応し、パブリックアクセスの確保と町村と連携し利便性の向上と利用者のマナー啓発に取り組む。



D 茂津多ゾーン郭割図

## E) 岩内ゾーン

防護面の特性：海岸侵食および波浪による越波被害が生じている。

環境面の特性：岩礁の間にポケットビーチが点在し、比較的広範囲に砂浜が分布する景観である。

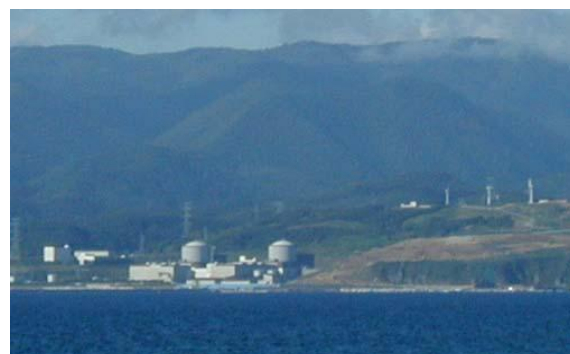
利用面の特性：岩内港、泊原子力発電所など工業的に利用されている地域である。



砂浜の侵食



砂浜利用状況



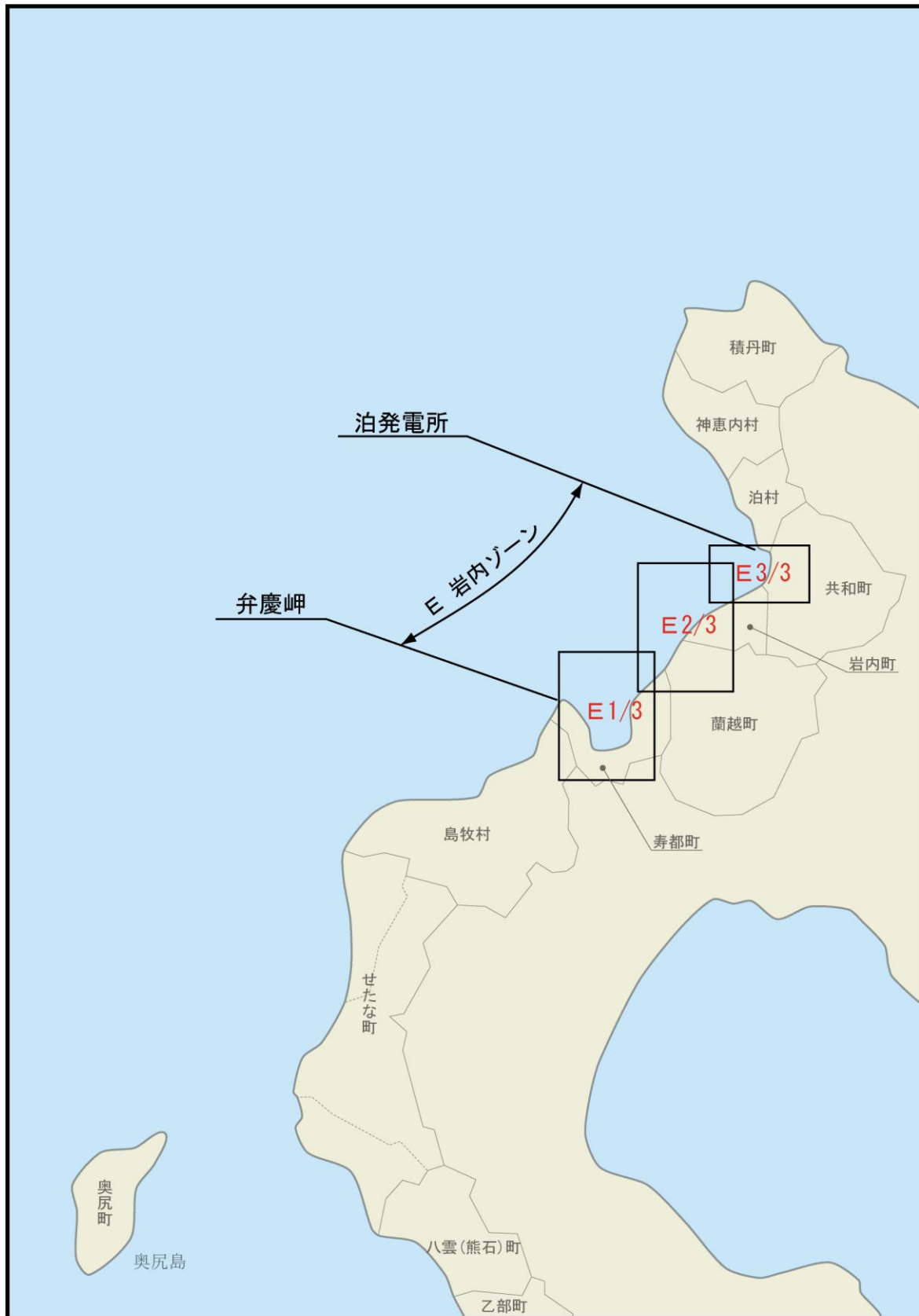
泊発電所

### 【ゾーンの方向性】

防護面：砂浜の保全による現状汀線の維持と海岸保全施設の効果維持を図る。

環境面：減少する藻場と、海食崖・岩礁・砂浜などで生み出される自然景観に配慮する。

利用面：多様化する海岸利用に対応し、パブリックアクセスの確保と町村と連携し利便性の向上と利用者のマナー啓発に取り組む。



E 岩内ゾーン郭割図

## F) 積丹半島ゾーン

防護面の特性：波浪による越波被害が生じている。

環境面の特性：ニセコ積丹小樽海岸国定公園海中公園地区に指定されている・岩礁景観をおりなしている。

利用面の特性：海水浴利用のほか、自然環境を活用したシーカヤック、ダイビング等の海洋性レクリエーションが行われている。



海中公園地区



海水浴利用



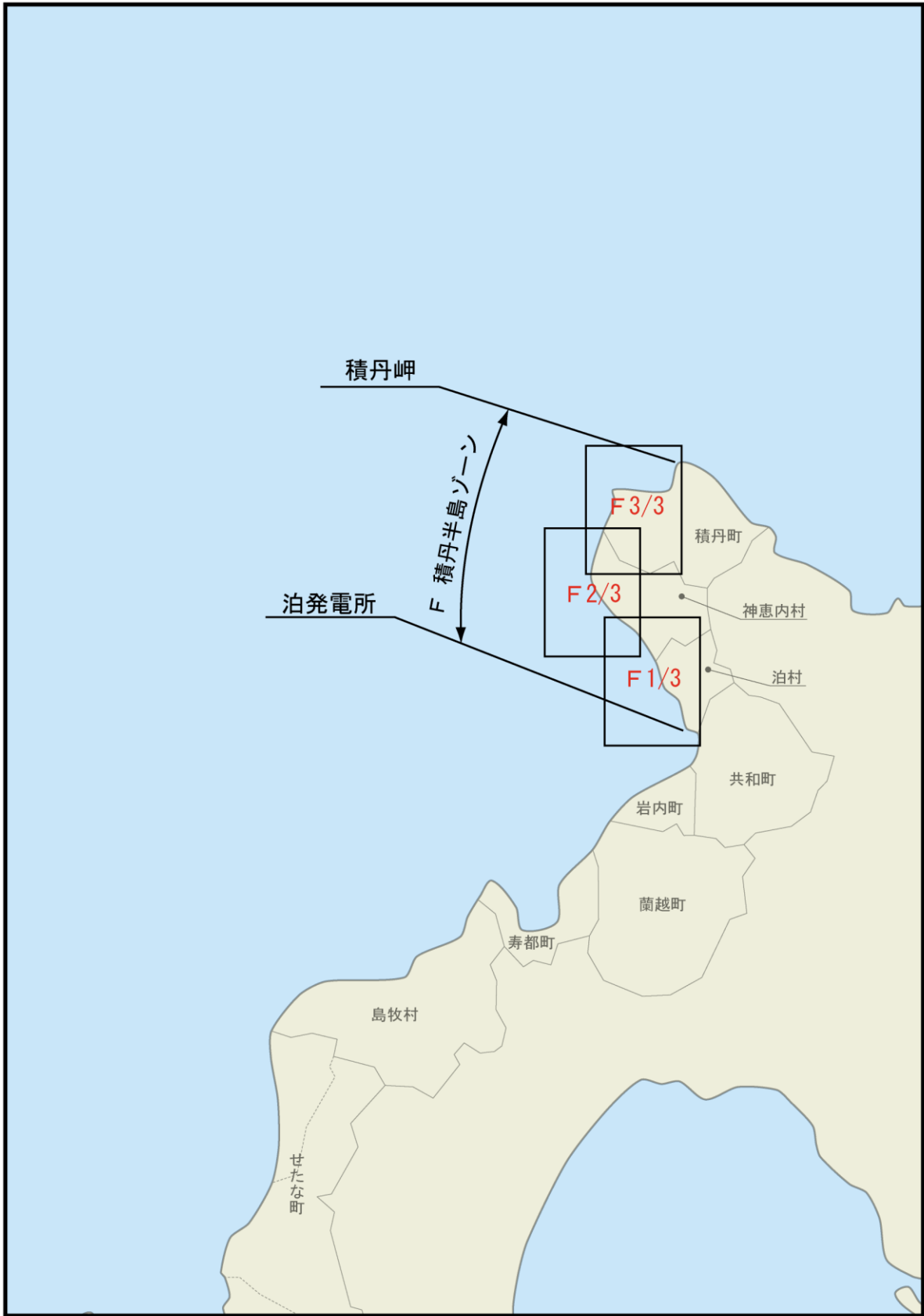
道路利用

### 【ゾーンの方向性】

防護面：来襲波浪に対して海岸保全施設の効果維持を図る。

環境面：岩礁などで生み出される自然景観や、海中公園地区に指定されていることから、特に海中の自然環境に配慮する。

利用面：多様化する海岸利用に対応し、パブリックアクセスの確保と町村と連携し利便性の向上と利用者のマナー啓発に取り組む。



F 積丹半島ゾーン郭割図

## G) 奥尻ゾーン

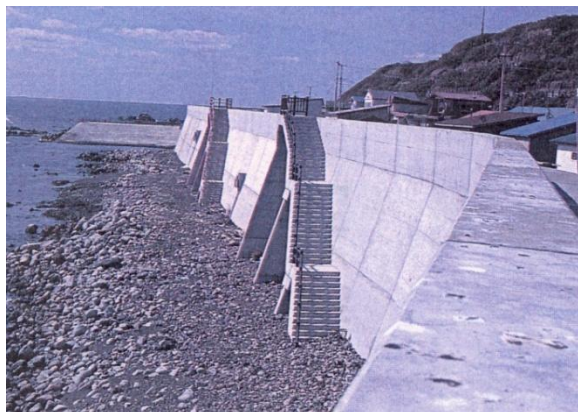
防護面の特性：北海道南西沖地震津波により甚大な被害を受け、広範囲にわたり堤防が整備されている。

砂浜幅が減少している。

環境面の特性：檜山道立自然公園指定地域には自然海岸が残されている・オジロワシ、オオワシ等の貴重な鳥類が生息している。

重なる鳥類が生息している。

利用面の特性：ダイビング利用が盛んである。



堤防



自然海岸



鍋釣岩



漁業利用



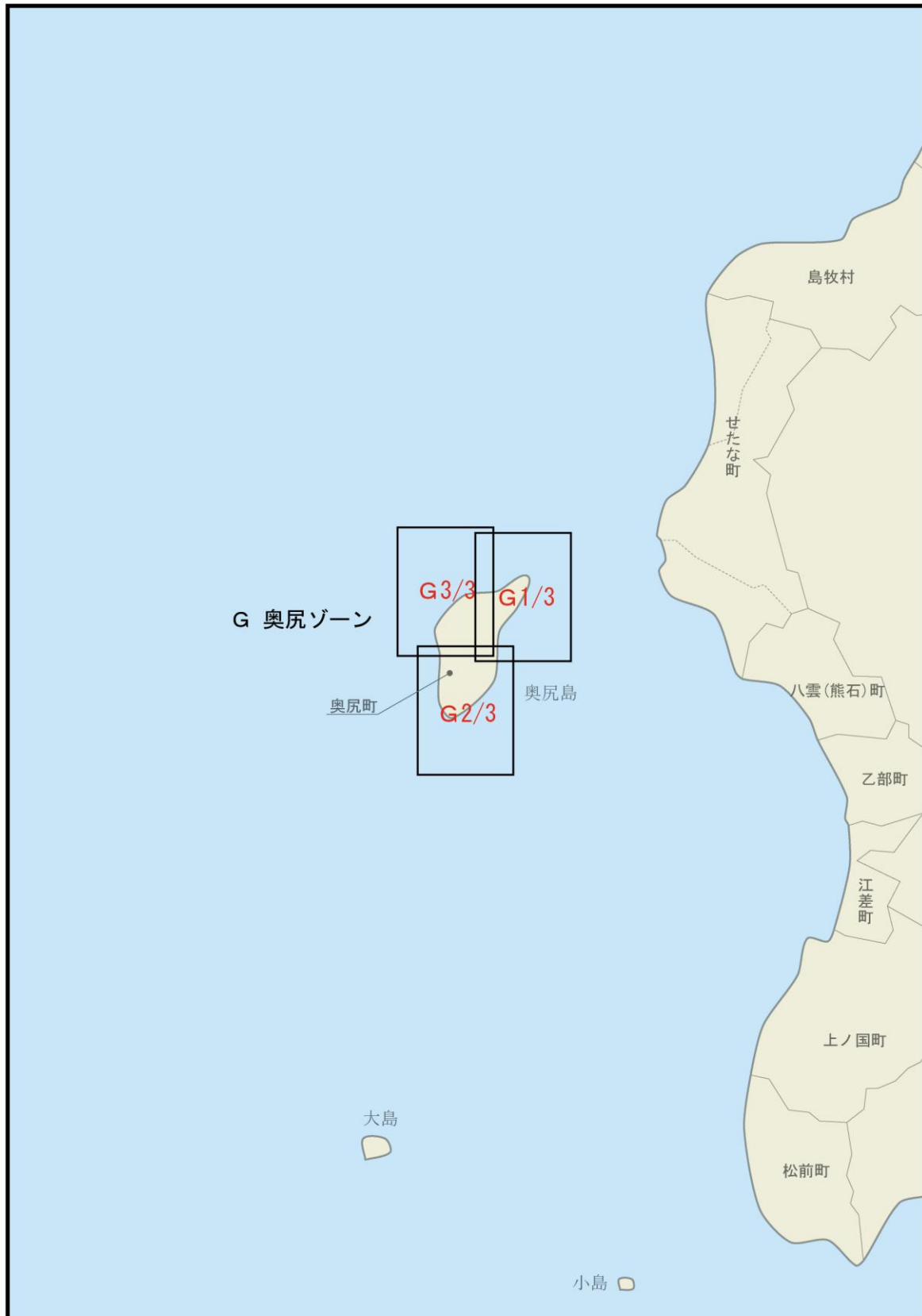
ダイビング利用

### 【ゾーンの方向性】

防護面：砂浜の保全による現状汀線の維持と海岸保全施設の効果維持を図る。

環境面：減少する藻場と、海食崖・岩礁などで生み出される自然景観に配慮する。

利用面：多様化する海岸利用に対応し、パブリックアクセスの確保と町村と連携し利便性の向上と利用者のマナー啓発に取り組む。



G 奥尻ゾーン郭分割図

防護パターンの模式図

防護パターン A	離岸堤+天然海浜	防護パターン C	離岸堤+緩傾斜護岸	防護パターン E	人工リーフ+天然海浜	防護パターン G	人工リーフ+緩傾斜護岸